

本当の教えに出会うことは「生きる」ことから、「生かされる」ことへの大転換

無碍の一道 第35号

発行:2014年9月7日
発行者:浄土真宗本願寺派 長尾山 天龍寺
副住職 天野英昭
〒739-0147 東広島市八本松西6丁目10番1号
Tel・fax(082)428-0160・(082)428-1360

彼岸法座

日時 9月26日(金) 9:00~15:00頃

朝席 9:00~11:30 昼席 13:00~15:00

ご講師 渡邊 幸司円 師(広島市佐伯区 光乗寺住職)

第38回歎異抄輪読会

日時 9月25日(木) 19:00~20:30頃

ご講師 松田正典先生(広島大学名誉教授)

費用 500円

参加者 天龍寺の門信徒の方のみならず、どなたでも参加は自由です。

仏社・仏婦からのお知らせ

★コーラス練習

9月22日(月) 9:30~11:30 参加費 100円 参加は自由です。

★天龍寺仏教壮年会 月例会

9月30日(火) 19:00~20:30



自分なりの蓮の花を咲かせる事が出来れば・・・

仏様はよく蓮台(蓮の花の台)の上に立っておられたり、座っておられます。教員時代、蓮の花を研究していた同僚がおり、その同僚が『蓮の花は綺麗な土壌よりも汚い土壌の方が、綺麗な蓮の花が咲く。』と言ったことがありました。

私たちも一人一人に人生という土壌が与えられ、その中で日々苦悩し、心配・恐怖に慄き、時に大きな悲しみに出会いながら、ある意味土壌が濁り、その濁り・汚れの中から自分なりの蓮の花が咲くのもかもしれないと時々同僚の話を思い出す事があります。



天龍寺仏教壮年会主催 夏の研修旅行を終えて

先般の7月29日(火)に金子みすずさんの所縁のある仙崎、角島灯台等に、20人の方々と楽しい一日を過ごさせていただきました。

今思えば、今年の7月後半から8月末にかけて、雨が多かったにもかかわらず、当日は晴天に恵まれありがたいご縁をいただいたと感謝しております。

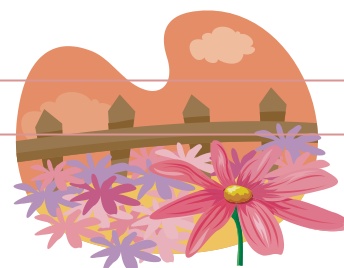
教員時代、修学旅行を含め色々と旅行をさせていただきました。教員時代の旅行は、それはそれで思い出も多く、私に取りましては大きな財産として心に残っています。しかし、この度3回目となる天龍寺仏教壮年会主催の旅行は、教員時代の旅行とは少し違っていると思っております。何が違うかと申しますと少し仏教壮年会主催の旅行は、良い意味でハプニングがあります。

この度も仙崎にある金子みすずさんの所縁のある遍照寺さんに参詣させていただく際に、少し道を間違え、来た道をUターンすることがありました。学校での旅行ではこのような事はありませんでした。それもそのはずで、添乗員の方が行く先々の事を心配され、行程通りに進めて頂いていたからだと思えます。

しかし、仏教壮年会の旅行には添乗員さんがいらっしゃいません。よって今述べたような道を間違えるということも起きます。間違えてUターンする際に、事の詳細を一緒に参加していただいた方々に説明をさせていただきますと車内で笑い声がおこりました。その瞬間心の中で『ありがたいご縁』だなと思った次第です。

また来年度も行われます仏教壮年会主催の旅行でもこの度の様なハプニングが起きる事もあるかもしれません。しかし、また今年と同じ様にみなさまの笑い声に包まれ、『ありがたいご縁』であったと感じさせていただければ幸いです。

最後に、旅行にあたりまして天龍寺仏教壮年会のみなさまには色々のご尽力を頂きました事、書面をお借りしましてお礼を申し上げます。



磯松天龍寺墓苑並びに合同墓合同参拝のお礼

今年も8月12日(火)の18:00から磯松天龍寺墓苑にて合同参拝をさせていただきました。また、今年から合同墓にご関係を頂いています方にもご参加をいただきました。ご参拝を頂きました方々には感謝申し上げます。さらに過分なるお供えも頂戴しました事、重ねて感謝申し上げます。

早いもので磯松天龍寺墓苑合同参拝も今年で20数年が経過しました。この期間多くのご縁をいただきましたことも当山としましてはありがたい事だと思っております。

一方で今年は、当山住職の体調が悪く出席が出来ませんでした。よって微力ながら父に代わり私が導師を務めさせていただきました。毎年父・私・長男と3代で出席させていただいておりましたので、少しご心配をいただきました。しかし、来年は父も元気になり、またみなさまと共に亡き人を偲びながら一緒に手を合わさせていただく所存でございます。

来年も多くの方々とのご縁をいただきたく思いますこと念じ申し上げます。

最後に、この度は天龍寺墓苑の一部で土地の基礎改修工事をしており、ご参拝を頂きました方々には、ご不便をおかけしましたことお詫び申し上げます。